



2019年(令和元年)

# 定時社員総会・理事会

第9期

2018年4月1日～2019年3月31日

日時:2019年5月11日(土)

会場:産経新聞社大阪本社8階

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2019年(令和元年) 一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日時 2019年5月11日(土) 午前10時と午後5時から理事会、午後3時から総会

○場所 産経新聞社大阪本社8階(大阪市浪速区湊町 2-1-57)

【旧体制理事会】10:00-14:30 ※理事会の議案は過半数で成立

【定時社員総会】15:00-16:30 【新体制理事会】17:00-17:30

※総会は出席対象者の過半数の参加があれば成立。議案は出席者の過半数で成立。

■**対象者94人**(理事13人、終身会員12人、A団体7、B団体51人、都道府県協会11人)

◎**出席・委任者計65人**(出席35人=理事12、終身11、チーム11・個人・都道府県協会1)、  
委任30人=理事1、チーム団体27・都道府県協会2人)→過半数出席で成立

☆JDBA 定款第12条「社員総会の議長は、理事長(櫻井理事長)がこれに当たる」

○第1号議案

・2018年度事業報告、2018年度登録チーム報告

○第2号議案

・2018年度決算報告(承認事項)

○第3号議案

・2018年会計監査、業務監査報告(中村監査)

・正味財産増減計算書との調整表(壇税理士)

・財務諸表(壇税理士)

○第4号議案

・2019年度予算(事務局)

・2018年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細

・2019年度事業計画・日程(議長)

○第5号議案

・2018年各専門委員会2018年報告と2019年度方針(各専門委員会委員長)

・2020年第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会について(競技委員長)

○第6号議案

・理事選任(2019-20年度JDBA体制)(承認事項)

○第7号議案

・定款変更(承認事項)

○第8号議案

・日本選手権でのJDBA理事謝礼受取承認の件(承認事項)

・競技役員への謝金、旅費支給に関する規定について(承認事項)

○第9号議案

・コンプライアンス対応について

・東京協会新艇購入について

## 【第1号議案】

## 2018 年度事業報告

(資料)

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月末まで

## 国内

日時	大会名	名義
4/29(日)	伊佐市政10周年記念いさドラゴンカップ2018(鹿児島県・伊佐市)→霧島連山噴火の為延期。 →8/5 に延期開催	後援
9/9(日)	第6回宇治川源平龍舟祭(京都・宇治)→河川敷改修工事の為、中止。	協力
5/20(日)	東京ドラゴンボート2018(東京)第14回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会選考会 オープン1位bp、混合1位東京龍舟、シニア1位東京龍舟マスターズ、女子1位東京龍舟プラチナ、 スモール1位 TAITAM X GREENS	主管
6/17(日)	第8回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪)オープン1位アベンジャーズ bp、混合1位関西龍舟白鹿、 市内1位信太山自衛隊協力会絆支部	主管
7/15(日)	2018 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)オープン:1 位磯風漕友会、混合:1 位東京龍舟、 シニア:1 位東京龍舟マスターズ、女子:1 位 SUPER DOLPHIN、スモール1位関西龍舟バーバリアンズ	主催
8/5(日)	第11回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・中角町) 1位とりのゆもん	主管
8/18(土)	第13回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県・大津市)	後援
9/2(日)	第15回KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪・関空) オープン1位bp、混合1位関西龍舟、 スモール1位★KIAS 消防 A チーム	主催
9/24(祝・月)	第13回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会、第8回グランドシニア大会(滋賀県・大津市)	後援
9/23(日)	第11回東大島ドラゴンボート大会(東京・東大島)	TDBA
9/30(日)	第9回名古屋中川運河ドラゴンボートレース(愛知・名古屋市)	共催
9/30(日)	第8回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ(静岡)	
10/21 (日)	第6回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津ボートレース場)選手権:オープン 選手権1位bp、 選手権混合1位東京龍舟、選手権女子1位暴漕レディース、普及オープン1位FULLAHEAD、 国際チャレンジ1位漕遊人	主管

## 海外

8/25,26,27	第18回アジア競技会(インドネシア・ジャカルタ) ※日本代表チームは出場せず。 【200m】男子1位中国、女子1位中国、【500m】男子1位中華台北、女子1位韓国 【1000m】男子1位中華台北	ADBF 主管
10/23	第13回 ADBFアジアドラゴンボート選手権大会(中国・佛山市) 【200m】スタンダード女子1位中国、スタンダードオープン1位中国、スタンダード混合1位イント(日本4位) スモール女子1位中国(日本8位)、スモールオープン1位台北(日本5位)、スモール混合1位中国 【500m】スタンダード女子1位中国、スタンダードオープン1位中国、スタンダード混合1位イント(日本5位)、スモ ール女子1位中国(日本7位)、スモールオープン1位中華台北(日本5位)、スモール混合1位中国(日本4 位)	ADBF 主催

## 【第1号議案】

## 2018年度JDBA 登録チーム(登録順)

櫻井議長

A団体登録チーム:7チーム(昨年7チーム、2年前7チーム、3年前6チーム、4年前8チーム)

① 関西龍舟シンバ(兵庫) 混合	② 東京龍舟(東京) 混合	③ すいすい丸(京都) 混合
④ bp(大阪) オープン	⑤ 東京龍舟マスターズ(東京) シニア	⑥ 侍oyage(東京) シニア
⑦ うみひ(静岡) オープン・スモール		

B団体登録チーム:51チーム(2018年度51、昨年54、2年前40、3年前53、4年前40、5年前43、6年前50)

① 打艇龍舟倶楽部(大阪)	② 関空飛龍(大阪)	③ 一寸防止(大阪)
④ チーム未来(大阪)	⑤ TEAM ひとつ(大阪)	⑥ team 風(大阪)
⑦ IHI 瑞龍丸(東京)	⑧ 香里ヶ高校5期生(大阪)	⑨ bp next(大阪)
⑩ 近畿車両電龍(大阪)	⑪ Rスポーツマンクラブ(大阪)	⑫ 吹田龍舟倶楽部(大阪)
⑬ コンチネンタルオートモーティブ(神奈川)	⑭ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑮ 株式会社スタック(神奈川)
⑯ TOKYO DRAGON(東京)	⑰ 磯風漕友会(兵庫)	⑱ 密林熱風(大阪)
⑲ EAGLE MKT(東京)	⑳ 暴漕連合(東京)	21 パイレーツ(大阪)
22 タイタムエックスドラゴンズ(東京)	23 ボン・オヤージ(東京)	24 サーフだったバイザーズ(東京)
25 池の里 LAKERS(滋賀)	26 青山大学ドラゴンボートチーム THUBAN (東京)	27 すきやねん大阪(大阪)
28 坊勢酔龍会 ALL BEERS(兵庫)	29 G-dragon(東京)	30 IHI 相生(兵庫)
31 INO-G(埼玉)	32 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	33 SUPER DOLPHIN(兵庫)
34 大阪産業大学常翔喜龍(大阪)	35 Team BANANA(兵庫)	36 ヤンググリーン(兵庫)
37 東海ドラゴン(愛知)	38 Chiyorow 倶楽部(神奈川)	39 鹿島龍舟部(東京)
40 CIC RISING STAR(埼玉)	41 TOKYO DRAGON(東京)	42 TEAM河童(大阪)
43 ジャングルマニア(東京)	44 G G サーフ(神奈川)	45 龍人(滋賀) SMALL
46 しげる(鳥取) :small	47 Rowing Team 浪わ(奈良) :small	48 小寺製作所(滋賀) :small
49 ROA'S(大阪) :small	50 Spirits Club(滋賀) :small	51 漕遊人(沖縄) :small

都道府県協会登録 11 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	※福島県協会は昨年閉鎖

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数

県名	2018年度 58チーム	2017年度 61チーム	2016年度 47チーム	2015年度 60チーム	2014年度 48チーム	2013年度 52チーム	2012年度 58チーム
福島県	0	0	0	0	1	0	0
埼玉県	2	3	1	2	1	0	1
千葉県	0	0	1	3	1	1	1
東京都	16	17	12	16	10	14	14
神奈川	4	4	2	5	4	1	3
静岡県	1	2	2	1	0	1	1
愛知県	1	1	1	1	1	1	2
京都府	1	1	1	1	1	1	1
滋賀県	5	4	2	2	2	3	2
大阪府	18	16	16	20	20	22	23
兵庫県	7	9	9	9	7	6	8
和歌山	0	0	0	0	0	1	2
奈良県	1	1	0	0	0	0	0
鳥取県	1	1	0	0	0	0	0
熊本県	0	1	0	0	0	1	0
沖縄県	1	0	0	0	0	0	0

## 【第2号議案】

## 決算報告

事務局

2018年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告(承認事項)

(2018年4月1日～2019年3月末まで)

¥24,021,727(総収入)－¥22,667,736(総支出)＋¥677,154(2017年度繰越金)＝¥2,031,145(2018年度通帳残金)

## 1. 収入の部(税込)

収入項目	2018年度予算	2018年度決算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	1,000,000	1,009,001	+	個人、団体登録料
2. 検定料	400,000	166,400	-	パドル検定
3. 主管料	900,000	1,300,000	+	日本選手権、堺泉北、スモール選手権、東京大会
4. JDBA HP 広告料	1,500,000	1,113,000	-	JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5. 寄付金	0	0		チーム・役員
6. 日本選手権ト ーピングくじ助成	1,000,000	955,000	-	くじ助成金は支出、収入とも相殺で計上せず
7. 日本選手権運 営費 toto 助成 金	4,060,000	4,060,000	0	日本スポーツ振興センターより toto 大会助成金 P16 に明細記載
8. 日本選手権大 会参加料・協賛金	8,000,000	7,133,400	-	P16 に明細記載
9. 立替金返金	3,000,000	2,985,992	-	JDBA 本体口座、事務局
10. 借入金(基金 通帳)	2,000,000	2,140,000	+	JDBA 本体通帳より借入
11. 借入金(ドーピ ング通帳)	0	1,062,352	+	JDBA 本体通帳より借入
12. 戻し金	0	1,106,556	+	JDBA 本体通帳より借入
13. 借入金(谷事 務局長より)	0	990,000	+	JDBA 谷事務局長より借入
14. 雑収入	0	26	+	利息
小計	21,860,000	24,021,727		
前年度繰越金	677,157	677,154		
合計	22,537,157	24,698,881		

## 2. 支出の部(税込)


支出項目	2018 年度予算	2018 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	200,000	262,042	+	IDBF、水上安全協会 会費ほか
2. 宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	150,000	209,968	+	役員国内交通費 役員宿泊費
3. 事務所費	1,000,000	933,770	-	HP管理費、税務会計 処理費、税金等
4. 通信費・郵券 通信費 郵券	10,000	42,836	+	海外送金 振込手数料
5. 会場借上げ	60,000	54,700	-	キャッスル H 会議室
6. 消耗品・補修費	0	78,970	+	ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	29,000	-	海外役員打合 天神大会来賓食事
8. 地方協会分配金	500,000	585,420	+	東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカメラ返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管 料	810,000	810,000	0	大阪・南港にカバー付き で保管
11選手強化費	80,000	49,896	-	世界選手権
12立替金返金①	850,000	990,000	+	JDBA 口座立替金返済 (谷事務局長より)
13ドーピング検査費・ 立替金	1,200,000	1,062,352	-	ドーピング口座立替金返 済(JDBA 口座より)
14立替金返済②	2,100,000	2,140,000	+	日本選手権口座立替 金返済(JDBA 口座よ り)
15日本選手権大会 経費(内訳は P15)	14,500,000	15,350,762	+	※P16 に詳細を記載
16予備費	1,047,157	0	0	
17海外大会役員派 遣費用	0	68,020	+	アジア選手権役員派遣 2 人(菖蒲、森永)
合計	22,537,157	22,667,736	+	

【第3号議案】 2018年度 会計監査、業務監査報告

(外部監査：西川京子公認会計士、中村英作氏)

2018年度の事業執行状況及び決算関係書類について、監査いたしました、  
いずれも正当妥当に処理されていました。

2019年4月19日

会計監査 西川京子 

業務監査 中村英作 



## ○一般社団法人日本ドラゴンボート協会 注記表

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

受取民間助成金 12,148,400 円の内訳は以下の通り

日本ドラゴンボート協会大会参加料	4,941,000
日本スポーツ振興センター基金助成金	4,060,000
日本スポーツ振興センタードーピング助成金	955,000
産業経済新聞社協賛金	2,160,000
大阪工業技術専門学校協賛金	32,400

## ○第2号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	24,021,727
通帳間移動	△7,294,905
借入分	△990,000
永和信金受入分	8,085
正味財産増減計算書	
経常収益計	15,744,907

支出の部	22,667,736
減価償却費	379,589
源泉所得税	40,840
源泉所得税納付	△40,840
ハイスピードカメラ割賦手数料	18
通帳間移動	△6,187,482
借入分	△990,000
支払負担金返金分	△27,335
正味財産増減計算書	
経常費用計	15,842,526

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果  
第2号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	2,031,145	677,157	1,353,988
未収金	0	1,072,000	△1,072,000
前払費用	0	18	△18
流動資産合計	2,031,145	1,749,175	281,970
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	379,590	△379,589
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	379,598	△379,589
固定資産合計	9	379,598	△379,589
資産合計	2,031,154	2,128,773	△97,619
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産			
正味財産合計	2,021,865	2,119,484	△97,619
負債及び正味財産合計	2,031,154	2,128,773	△97,619

正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,475,401	2,176,127	299,274
受取補助金等			
受取民間助成金	12,148,400	13,199,400	△1,051,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	146,000	△146,000
雑収益			
受取利息	21	21	0
雑収益	1,121,085	1,510,000	△388,915
雑収益計	1,121,106	1,510,021	△388,915
経常収益計	15,744,907	17,031,548	△1,286,641
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	623,428	550,390	73,038
通信運搬費	133,920	120,960	12,960
減価償却費	379,589	507,433	△127,844
消耗什器備品費	222,897	141,015	81,882
消耗品費	156,855	158,449	△1,594
修繕費	34,970	0	34,970
印刷製本費	149,040	150,120	△1,080
光熱水料費	312,277	305,856	6,421
賃借料	336,560	296,768	39,792
保険料	212,440	112,440	100,000
支払負担金	1,478,156	1,552,836	△74,680
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	9,802,901	10,552,446	△749,545
雑費	911,116	1,043,115	△131,999
事業費計	14,904,149	15,641,828	△737,679
管理費			
交際費	29,000	33,102	△4,102
通信運搬費	10,912	0	10,912
消耗什器備品費	45,720	22,352	23,368
消耗品費	4,766	0	4,766
賃借料	54,700	61,000	△6,300
租税公課	71,650	71,200	450
支払負担金	68,057	22,000	46,057
委託費	320,000	391,880	△71,880
雑費	333,572	333,125	447
管理費計	938,377	934,659	3,718
経常費用計	15,842,526	16,576,487	△733,961
評価損益等調整前当期経常増減額	△97,619	455,061	△552,680
当期経常増減額	△97,619	455,061	△552,680
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△97,619	455,061	△552,680

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
当期一般正味財産増減額	△97,619	455,061	△552,680
一般正味財産期首残高	2,119,484	1,664,423	455,061
一般正味財産期末残高	2,021,865	2,119,484	△97,619
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,021,865	2,119,484	△97,619

## 【第4号議案】

## 2019年度予算

事務局

2019年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算  
(2019年4月1日から2020年3月末まで)

## 1. 収入の部

収入項目	2018年度決算	2019年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	1,009,001-	1,000,000-	-	A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	166,400-	200,000-	+	パドル検定
3. 主管料	1,300,000-	1,000,000-	-	堺泉北、びわ湖、東京、
4. JDBA HP 広告料	1,113,000-	200,000-	-	協会HP パナーのサンスポ広告掲載料
5. チーム役員寄付	0	0	0	
6. 日本選手権 ドーピング助成	955,000-	1,000,000-	+	くじ助成金 日本選手大会
7. 日本選手権 運営費助成金	4,060,000-	2,000,000-	-	toto 大会助成金 日本スポーツ振興センターより
8. 日本選手権 参加料・協賛金	7,133,400-	7,200,000-	+	参加料 協賛金:大王製紙
9. 立替金返金	2,985,992-	3,000,000-	+	JDBA 本体通帳より
10 借入金 (基金通帳)	2,140,000-	2,000,000-	-	JDBA 本体通帳より 借入
11.借入金 (ドーピング通帳)	1,062,352-	1,000,000-	-	JDBA 本体通帳より 借入
12.借入金	990,000-	1,000,000-	+	谷事務局長より借入
13.雑収入	26	30	+	利息
小計	24,021,727-	19,600,030-	-	
前期繰越金	677,154-	2,031,145-	+	通帳残金
合計	24,698,881-	21,631,175-	-	

## 2. 支出の部

支出項目	2018 年度決算	2019 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費, IDBF 登録費 1122 人 × @100-	262, 042	250, 000-	-	IDBF、JADA 会費等
2. 旅費	209, 968-	200, 000-	-	役員交通費
国内旅費				国内役員
3. 事務所費	933, 770-	950, 000-	+	HP管理、会計処理費など
4. 通信費 郵券	42, 836-	40, 000-	-	振込手数料
5. 会場借上	54, 700-	55, 000-	+	総会会場等
6. 消耗品費 ポート修理費	78, 970	50, 000-	-	JDBA ポート修理費
7. 会議費	29, 000-	30, 000-	+	天神大会来賓食事代など
8. 地方協会分配金	585, 420-	580, 000-	-	
9. ハイスピードカメラ返済金	0-	0		27年7月まで
10. 新艇保管料	810, 000-	810, 000-	0	5艇大阪南港保管
11. 選手強化費	49, 896-	50, 000-	+	アジア選手権
12. 立替金返金①	990, 000-	990, 000-	0	事務局長立替金
13. ドーピング検査費	1, 062, 352-	1, 000, 000-	-	JADA
14. 立替金返金②	2, 140, 000-	2, 000, 000-	-	JDBA 通帳から toto 専用通帳に貸出
15. 日本選手権大会経費	15, 350, 762-	14, 500, 000-	-	カレー代、スタッフ宿泊費等経費を削減
16. 海外大会派遣	68, 020	100, 000-	+	
小計		21, 605, 000	-	
17 予備費	0	26, 175		
合計	22, 667, 736-	21, 631, 175-	-	

【第4号議案】

天神祭奉納 2018年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細

※本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから toto の大会助成を得て運営しています。

1	参加料収入	20人漕ぎ、10人漕ぎ	4,941,000-
2	toto 大会運営助成金	独立行政法人日本スポーツ振興センター	4,060,000-
3	協賛金	大阪製紙、大会プログラム広告費	2,192,400-
4	借入金	JDBA 本体通帳より借入(天神大会費用)	2,140,000-
5	借入金	JDBA 本体通帳より借入(ドーピング費用)	1,062,352-
6	助成金	JSCよりドーピング費用助成	955,000-
7	雑収入	普通預金利息	10
	収入合計(税込)		15,350,762-

支出 11,302,416円(税込)

↑は前年度よりアップ ↓は前年度よりダウン

1	施設費	陸上施設、水上施設、音響設備費	5,022,000-
2	製作費	大会プログラム製作費	325,987-
3	資材費	参加者用ドリンク購入代	350,465--
4	使用料	会議室、栈橋、公園、警戒艇使用料	1,200,560-
5	運送費	資材運搬費	133,920-
6	人件費	実況、司会料2人	70,000-
7	警備費	会場警備員費	288,900-
8	ゴミ処理費	南天満公園ゴミ処理	129,600- ↑
9	主管料	大阪府ドラゴンボート協会	150,000-
10	広告宣伝費、大会運営費	サンケイスポーツ	1,580,000- ↓
11	宿泊交通費	役員宿泊、役員交通費	345,440- ↓
12	会費	大阪水上安全協会賛助金	100,000-
13	打合せ費	協賛社食事代	7,215- ↓
14	事務所費	役員弁当代	544,560-
15	保険代	傷害保険他	212,440-
16	郵券	振込料	10,368-
17	立替金	サンスポ立替金	830,961-
18	借入金戻し金	JDBA本体通帳へ(大会運営費)	2,030,994-
19	ドーピング検査代	ドーピング検査代	1,061,488-
20	借入金戻し金	JDBA本体通帳へ(ドーピング経費)	955,000-
	支出合計(税込)		15,350,762-

平成 31 年度スポーツ振興基金助成 申請団体 御中

(資料)

お世話になっております、日本スポーツ振興センター支援企画課です。  
平成 31 年度スポーツ振興基金助成の配分留保について御連絡いたします。

貴団体から申請のありました平成 31 年度スポーツ振興基金助成について、スポーツ団体選手強化活動助成とスポーツ団体大会開催助成の申請件数・金額は、全団体合計で、180 件、12 億 1,254 万 4 千円となりました。

これに対して、平成 31 年度のスポーツ振興基金助成の財源は、現時点において、約 6 億 3 千万円となっており、申請額に対して財源が不足している状況となっています。

そのため、現在、平成 31 年度スポーツ振興基金助成の配分について、関係機関と協議中であることから、平成 31 年 4 月時点での配分は留保することとしています。

なお、今後は、平成 30 年度助成活動の実績報告を踏まえた額の確定作業等が終了した 6 月以降に、平成 31 年度の配分案について、助成審査委員会の承認を得た上で、速やかに助成金の配分を行いたいと考えております。

本メールの内容につきましては、本日平成 31 年 4 月 8 日付けの事務連絡文書を、申請時に登録いただいた御担当者様宛てに郵送していますので、あわせて御確認ください。

その他、御不明な点がございましたら、以下の担当までお知らせください。  
どうぞよろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

□  
└─独立行政法人日本スポーツ振興センター (JAPAN SPORT COUNCIL)  
スポーツ振興事業部 支援企画課 企画・総括係  
〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35



## 2019年 JDBA 関連大会日程(予定)

5/11 現在

(2019年度)

## 【国内大会】

- 4月28日(日) いさドラゴンカップ2019(鹿児島):後援
- 5月6日(祝・月) 宇治・源平・龍舟祭(京都宇治市):大阪協会主管
- 5月19日(日) 東京ドラゴンボート大会2019(東京江東区・豊洲春海橋公園):主管**  
**※第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権選考予選会**
- 6月16日(日) 第9回堺泉北港スモールドラゴンボート大会(大阪・高石市):主管
- 7月14日(日) 天神祭奉納 2019 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市):主催**  
**※第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権最終選考会**
- 7月14日(日) 予定 第12回豊見城ハーリー大会(沖縄・豊見城市):協力
- 8月4日(日) 予定 第12回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・福井市):協力
- 8月 日( ) 第14回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県):後援
- 8月 日(日) 第29回びわこペーロン(滋賀県)
- 9月1日(日) 第16回KIX国際交流ドラゴンボート大会(泉佐野市):主催**  
 月 日( ) 第14回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会(滋賀県):後援  
 第9回ドラゴンボート・グランドシニア大会(滋賀県):後援
- 9月29日(日) 第10回名古屋中川運河ドラゴンボートレース(愛知・名古屋市):共催
- 9月22日(日) 第7回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀)主管**
- 10月13日(日) 第12回東大島ドラゴンボート大会(東京・東大島)
- 10月13日(日) 予定 第9回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ
- 【国際大会】
- (2019年)8/20-25 第14回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤビーチ)
- (2020年) 月 **第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権(香港)**  
 第12回 Club Crew World Championships, 2020(フランス)
- (2020年)11/26-12/5 **アジアビーチゲームズ(中国・海南省三亜市):JOC 派遣**  
**※Olympic Council of Asia (OCA)からIDBF会長のマイク・トーマスに宛てて、ドラゴンボート競技が正式種目として承認されたこと、ドラゴンボート競技は IDBF.ADBF の管理下(主管)で行われることの報告(3/3)。**
- (2021年)5/29-30 第10回 KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021:ドラゴンボート競技(滋賀)
- (2021年) 第15回 World Dragon Boat Championships, 2021:(香港)
- (2021年) 第2回アジアクラブクルー選手権(タイ・パタヤビーチ)
- (2022年)9/10-25 第19回アジア競技会(中国・杭州市):JOC 派遣

## 【第5号議案】

## 各専門員会報告

### 【競技委員会】

### 2017年の報告と2018年の計画

長谷川競技委員長

今年、競技規則を見直して、IDBFルールとの整合性。  
競技会が無事に開催できるようにしていきたい。

## 【国際委員会】

## 2019年活動報告

報告：森永裕幸

### 1. 海外からの問い合わせに対する対応：

近年、海外チームから日本で開催される大会への問い合わせ、情報提供依頼、などが特に多くなっています。1月初旬から問い合わせが始まり、3月になると申し込みの要望が届く状況です。特に、5月の東京大会、6月の堺泉北港スモールドラゴンボート大会、7月の日本選手権大会、8月のKIXドラゴンボート大会、そして9月の琵琶湖スモールドラゴンボート選手権大会に人気があります。日本語版、英語版の大会案内を早急に作成し、送信する必要に迫られています。

### 2. 大会関係報告

1 台湾の北東部・花蓮県・鯉魚潭(Liyu Lake)で「2018 Hualien Pacific International Dragon Boat Race」が3月17日から18日にかけて開催され、20カ国から46チームが参加しました。日本ドラゴンボート協会の声掛けで集まった2018年2月6日に発生した花蓮地震被災者への義援金・24万円を持参し、また参加した東京龍舟チームも独自にTシャツを販売して義援金を工面し、県知事に手渡しました。大会運営には日本ドラゴンボート協会から菖蒲が競技役員として参加しました。2 第18回アジア大会(18th Asian Games)が2018年8月18日から9月の2日までの16日間、インドネシアの首都であるジャカルタ(39競技)並びにスマトラ島のパレンバン(10競技)の合計49会場にて、40競技、462種目の多岐にわたり開催されました。ドラゴンボート競技は「Traditional Boat Race(トラディショナル・ボート・レース)」という競技名で、パレンバンにある「JSC Lake Jakabaring,Plaembang」を舞台に8月25日(土)から27日(月)まで熱戦が繰り広げられました。

競技種目はスモールボート競技のみ、直線 200 メートル(男女)、500 メートル(男女)そして直線 1000 メートル(男子)の 3 種目で、11 カ国がエントリーしていました。Traditional Boat Race(TBR)は、カヌー・カヤック・TBR というカヌー競技の一つとして組み込まれていて、Asian Canoe Confederation (ACC)と AsiaDragonBoatFederation (ADBDF)から 9 名ずつ国際審判員を派遣するという両組織の合意の下、インドネシアの国内審判員と共に競技運営を行いました。ADBDF からは中国(Jury)、マカオ(Chief Official)、日本(Chief Course Umpire)、マレーシア(Chief Marshal)、中国(スターター)、香港(スターター)、中国(Course Umpire)、フィリピン(ボートチェック)の 8 名が派遣されました。インドネシアの国内審判員も非常に協力的で効率的な大会運営が出来ました。日本からは菫蒲が chief courseumpire を務めました。今回の大会の特徴の一つは韓国が南北合同チームを編成してエントリーしていたことです。合同チーム編成が決定してから大会当日まで 20 日間しか練習できなかったということでしたが、女子 500m レース優勝、200m レース 3 位の結果は見事です。男子は 500m と 1000m レースで優勝、200m レースでは準優勝と中華台北チームの強さが際立っていました。これからはアジア諸国の中でも目標とされる国・チームになると思われます。9 月 6 日(木)から 9 日(日)にかけて、韓国・釜山で開催された「8 th Korea Open Busan International Dragon Boat Festival」に日本から「bp」はスモール・オープン、「Titam X Dragon」はスタンダード・ミックスの部で参戦しました。9 月 4 日に近畿地方を襲った超大型台風 21 号で関西国際空港が甚大な被害を受け、航空機の発着が不能となり釜山への移動は困難を極めました。bp チームは成田空港を経由して札幌空港から釜山へ向かう予定が、今度は北海道地震に遭遇し、再度予定を急遽変更して新幹線で下関まで向かい、関釜フェリーで翌朝釜山港に辿り着くという難行。すでにスタートしていた大会に飛び込み 200 メートルでいきなり優勝というまさに神業。そして 2 日目、3 日目の 500 メートルでは 2 位という快挙を成し遂げました。チームの若いメンバーにとって海外の大会に参戦することは良い経験になったと思います。菫蒲は審判長(Chief Official)を依頼され、福岡空港から釜山に向かいました。

#### 4 第 13 回アジアドラゴンボート選手権大会

第 13 回アジアドラゴンボート選手権大会が 11 月 13 日から 19 日にかけて、中国・広東省・広州・仏山市(Foshan city)にて開催されました。日本からは東京龍舟チームを主体とするチーム編成でスタンダード・カテゴリーに参戦しました。また、スモール艇ではbpチームで編成して参戦しました。競技役員として、菫蒲が assistant Chief Official として競技運営に関わりました。

#### 3. アジアドラゴンボート連盟常任理事会報告

第 13 回アジアドラゴンボート選手権開催中の 2018 年 11 月 16 日、同じく広州・仏山市のホテルにて第 23 回 ADBF 常任理事会が開催され、菫蒲が常任理事として出席しました。以下はその討議事項の概要です。

1)2020 年香港にて開催予定の「第 14 回アジアドラゴンボート選手権大会」は、台風到来時期などを考慮して、11 月と決定。

2)2020 年中国で開催される「Asian Beach Games」について。

この大会の開催地は中国・海南省・三亚市で 9 月の開催予定であり、各国はそれぞれのオリンピック委員会と十分な接触を持ち、大会に派遣してもらえるように情報交換と交渉を行って欲しい。↓

2019 年 3 月 12 日付けで、Olympic Council of Asia (アジアオリンピック評議会)より連絡があり、この大会は 2020 年 11 月 28 日から 12 月 6 日に開催されるという報告があった。

3)2022 年に中国で開催予定の「第 19 回アジア競技大会(19 th Asian Games)」について。

ドラゴンボート競技に関しては、ADBFB の権限で開催することが決定している。各国のドラゴンボート協会は、Asian Beach Games 同様、それぞれの国のオリンピック委員会に働きかけて、大会に参加できるよう尽力して欲しい。

4)アジアドラゴンボート連盟 (ADBFB) の組織見直しについて。

ADBFB 内の 5 つの分科会責任者は ADBFB 常務理事が務め、各分科会委員については各国の国際審判員より募集することに決定。

5) 以下は今後の主なドラゴンボート競技大会

- ① 2019 年 8 月 : 第 14 回世界ドラゴンボート選手権大会 (タイ・パタヤビーチ)
- ② 2020 年 11 月 : 第 14 回アジアドラゴンボート選手権大会 (香港)
- ③ 2020 年 11 月 : Asian Beach Games (中国・海南省・三亜市)
- ④ 2020 年 : 第 12 回クラブ・クルー世界選手権大会 (フランス)
- ⑤ 2021 年 : 第 15 回世界ドラゴンボート選手権大会 (香港)
- ⑥ 2022 年 9 月 : 第 19 回アジア競技大会 (中国・浙江省・温州市)

#### 4. その他事項

毎年度の報告書で指摘・提案していますが、日本ドラゴンボート協会には現在 30 名の国際審判員資格保持者がいます。その中で海外の大会運営に関わっているのは森永氏と菖蒲のみというのが現状です。今年 (2019 年) タイ・パタヤで開催される第 14 回世界ドラゴンボート選手権大会には国際審判員 60 名の定員に対して、140 名の応募が世界中からありました。世界に遅れを取らないように、日本からも積極的に国際大会での審判員を経験して頂きたい。

以上

## 【審判委員会】

### 審判委員会 2018年度活動実績と2019年度活動計画

審判委員会委員長 川北尚勝

#### 1. 2018 年度活動計画 vs.実績

##### ★ 活動計画 1. 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

【実績】（下記の人数は年間合計）

① B 級への昇級認定・なし

② A 級への昇級認定・なし

③ 上級への昇級認定・なし

④ JDBA HP 審判資格者リストの改定・修正

・上記の昇級認定、下記(参考 1)の新たな C 級認定、および(参考 3)の国際審判資格新規昇級および修正に基づきリストを改定・修正

(参考 1) C 級新規取得者（都道府県協会認定）

・4名（東京都協会）

(参考 2) 国際審判資格新規昇級および修正 (IDBF 認定・国際委員会管轄)

・Grade 4: 1 名      Grade 3: 1 名      Grade 1: 2 名

(参考 3) 審判資格者の級別合計人数(2018 年度末現在)

・上級 70 名、A 級 15 名、B 級 42 名、C 級 142 名、計 269 名

##### ★ 活動計画 2. 公認審判員規定と審判員資格体系の見直し・改定・整備

【実績】 ① JDBA 審判員資格認定細則（以下「細則」）第 4 条（上級審判員資格認定にかかわる統一基準）及び付属フォーム上 2 を改定・公布（2018 年 6 月 2 日付）

② 細則（全文）及び全付属フォーム（2018 年 6 月 2 日付改定版）を JDBA 理事、専門委員会委員長、都道府県協会代表者及び関係役員に配布

③ JDBA HP にて改訂版細則（全文）を公布（JDBA 事務局・普及広報委員会経由）

##### ★ 活動計画 3. 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

【実績】 テキスト及び試験問題の見直しを行ったが、特に新たな変更・改定を要する点や懸案事項はなく、変更・改定は行わなかった

#### 2. 2019 年度活動計画

(1) 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

(2) 昇級認定の推進

(3) 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定（必要に応じて）

(4) その他

以上

## 【科学技術委員会】

### 科学研究委員会報告(2019.5.11)「2018 年度」

報告者:後藤幸弘・田中 讓

#### 「2018 年度」

- ①2018 年度の日本選手権のレース経過の実態を検討した。特にスモール艇とスタンダード艇の比較を中心に。(詳細は協会ホームページにアップ予定)
- ②2019 年 3 月、大川で行われた男子合宿に参加した選手の一人漕ぎの速度曲線を GPS システムを用いて記録した。また、ローイングエルゴメータによるパワー測定の結果と一人漕ぎの記録との関係を検討した。結果の意義・意味、今後の利用方法等を強化部と協議中)
- ③10 人の同一漕者によるスタンダード艇とスモール艇の 50 秒間の速度曲線を GPS システムを用いて記録した。その結果、スタート 5~10 ストローク後にスタンダード艇の漕速度がスモール艇を上回り、50 秒間における漕距離が 2・3m 長くなることが認められた。  
なお、スタンダード艇を 10 人で漕いだ場合の速度は、20 人の場合の 80%前後になる。
- ④世界選手権、アジア選手権の実績の整理。  
(詳細は協会ホームページにアップ予定)

#### 「2019 年度の計画」

- ① 2018 年度に引き続き、日本選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討する。あわせて、協力してもよいというチームを対象にレース中の心拍数を記録する(これまで協力チームが得られていません。体力面の自己診断に役立ちますので是非トライください。)
- ② 強化委員会と協力し、合宿・代表選抜会に参加する選手の身体特性等々を調査・測定する。
- ③ 代表チームへの科学的サポート。
- ④ 世界のトップレベルの漕法の分析(2019 年世界選手権における)
- ⑤ これまでの研究成果や各種の大会等々の資料を整理し、「ドラゴンボートの科学」と題する冊子を作成したいと考えている。
- ⑥ その他(要望を受けて)等を計画している。

## 【法制営業委員会】

### 2018 年度活動報告並びに 2019 年度活動方針

2019 年 5 月

法制営業委員会委員長 利波敏行

#### 【2018 年度活動報告】

##### ■コーポレートゲームズ関西 2018 競技採用アプローチ

2018 年 10 月 27 日・28 日大阪市内を中心に開催され、会場選定及び事業収支プランを提示したが

イニシャル固定費かかる費用がネックとなり、採用見送り。

次年度へ採用に向け事務局に申し送り。

##### ■企業の福利厚生におけるスポーツイベント採用に向けたアプローチ

社内コミュニケーションの不足、チームビルディング構築のため等チームスポーツを採用して社員間の交流を

活発にすることを課題に挙げている企業が多い。この点に着目して、ドラゴンボートに対する興味関心度を高め

る活動を行った。

#### 【2019 年度活動方針】

##### ■東京・大阪地区での新たな大会実現に向けて、営業活動

・コーポレートゲームズ次年度採用に向けた、調査活動

・WMG2021 関西の滋賀県会場で実施のドラゴンボート。組織委員会に対し、本番に向けた開催地機運醸成

※2020 年にプレ、リハーサル大会が各市町で予定されている中、大津で実施のドラゴンボートも同様に実施の可否、予算目途などを探る。(WMG2021 滋賀県実行委員会)

##### ■企業の福利厚生におけるスポーツイベント採用に向けたアプローチ

社内コミュニケーションの不足、チームビルディング構築のため等チームスポーツを採用して社員間の交流を

活発にすることを課題に挙げている企業が多い。この点に着目して、ドラゴンボートに対する興味関心度を高め

る活動を行う。

■関西の訪日観光客増加に向けたインバウンド施策の一環として、日本人と外国人の交流イベントの一つとして、ドラゴンボート体験試乗会など水辺の賑わい創造事業ツールとして提案・・・大阪市、大阪観光局等巻き込む。

以上

## 【強化委員会】

### 強化委員会 2018年度活動実績及び2019年方針

JDBA強化委員会 半田、河田、高橋、楡木

#### 強化委員会2018年度活動実績及び2019年方針

1：2019年度世界選手権に向けての活動方針を策定

##### <基本方針>

日本代表としての出場権を獲得したチームが主体となり、そこにオールジャパン強化指定選手が加わる形で代表チームを編成し、世界ドラゴンボート選手権（タイ・パタヤ）において過去最大の選手団の派遣と過去最高の競技成績の獲得を目指す。

##### <目標>

第14回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会において、複数種目でのグランドファイナル進出及びメダル獲得。オープン・女子・混合・シニアカテゴリーで、スタンダードボート、スモールボート全種目の出場を目標とする。

##### <対外告知実績>

活動方針の内容を2018年12月にJDBAホームページに掲載

2：オールジャパン強化指定選手追加選考会及び強化合宿の実施

##### <男子の部>

日時：2019年3月23・24日

場所：大阪市都島区中野町大川bpベース

参加人数：23名（内2019年度強化指定選手5名）

実施内容：50M一人漕ぎ測定、エルゴメーター1分計測、レース想定トライアルのパフォーマンス検証

現オールジャパン強化指定選手5名含む、すべての参加者により、上記実施種目を2日間にわたり実施し、強化委員により公正・公平に審査をいたしました。その結果、以下の5名を追加のオールジャパン強化指定選手として認定しました。

今出壮一所属：b p

土井幹太所属：東京龍舟

高橋周平所属：b p

林達也所属：b p

藤野巧巳所属：b p<女子の部>

日時：2019年3月30・31日

場所：東京都江戸川区小松川東京龍舟ベース

参加人数：21名（内2019年度強化指定選手12名）

実施内容：50M一人漕ぎ測定、150M一人漕ぎ測定、レース想定トライアルのパフォーマンス検証

現オールジャパン強化指定選手12名含む、すべての参加者により、上記実施種目を2日間に



わたり実施し、強化委員により公正・公平に審査をいたしました。その結果、以下の3名を追加のオールジャパン強化指定選手として認定しました。

岩井康子所属：東京龍舟、長橋陽香所属：東京龍舟、沼澤ダフニィー所属：TEAMOOKKII

3：Asia Beach Gamesに向けての代表選抜方法について

選考会：スモールドラゴンボート日本選手権

選考方法：A登録で出場し、オープン及び女子カテゴリーで1、2位になったチームがJCFとの日本代表をかけた選考会に参加資格を得る

強化指定選手：参加資格を得たチームに、オールジャパン強化指定選手が加わることができる。強化指定選手のためのチーム編成も可とする。

以上

#### オールジャパン強化指定選手追加選考会及び強化合宿の実施報告

下記日程にて世界選手権大会に向けた強化指定選手追加選考会及び強化合宿を実施致しましたのでご報告いたします。

<男子の部>

日時：2019年3月23・24日

場所：大阪市都島区中野町大川bpベース

参加人数：23名（内2019年度強化指定選手5名）

実施内容：50M一人漕ぎ測定、エルゴメーター1分計測、レース想定トライアルのパフォーマンス検証

現オールジャパン強化指定選手5名含む、すべての参加者により、上記実施種目を2日間にわたり実施し、強化委員により公正・公平に審査をいたしました。その結果、以下の5名が追加のオールジャパン強化指定選手に認定されました。

【評議委員会】

評議会委員会 宮村 一

評議委員会 2018 年度事業報告

各都道府県協会及びチーム・団体の皆様には日頃より大会・イベント等でドラゴンボートに対しての普及活動に感謝しています。

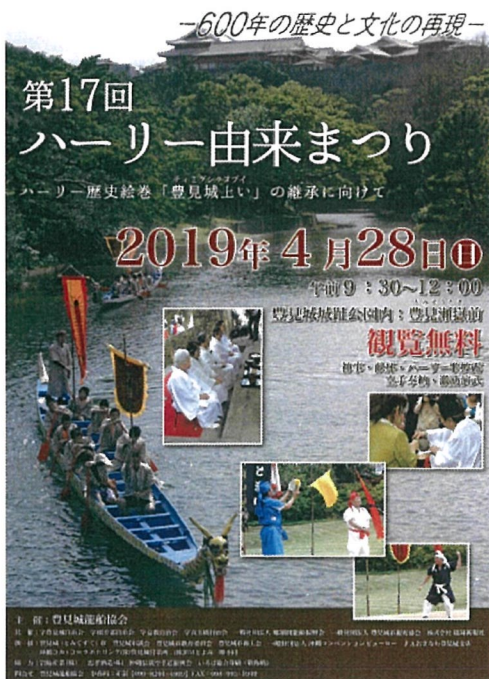
昨年は天候などで中止せざる大会が数件ありました、準備もされていましたが安全面からの配慮にて中止の決断痛み入ります

今年、新たに神奈川県横浜市鶴見区の大黒運河にTAITAM X DRAGONS様がドラゴンボートを購入されチームの練習場所と体験会を早々に開催されています

評議委員会 2019 年度事業計画

各都道府県協会及びチーム・団体の大会とイベント活動情報を広く伝わるよう活動します

神奈川県横浜市鶴見区の大黒運河で活動されているTAITAM X DRAGON様に地域の拠点として神奈川県協会の登録をご検討願います



	③ 練習環境の概要	④ 主催で開催の大会	⑤ 関与している大会（以外）	⑥ 関与しているイベント	⑦ 年次行事
九頭龍ドラゴンボート協会 （福井県）	練習環境 無	『九頭龍ドラゴンボート大会』 ミニドラゴンボートを使用し18チームのトーナメント型大会を開催（親子対象）の体験船期を行う	（該当なしもしくは記述なし）	『福井まつり』 福井城のそばにミニドラゴンボート3艇を使用し一般市民に花見を兼ねてもらふ。（福井県工会連所青年部主催に協力）	（該当なしもしくは記述なし）
和歌山県ドラゴンボート協会	（該当なしもしくは記述なし）	（該当なしもしくは記述なし）	『KIX国際交流ドラゴンボート大会』 会場設営（コース、陸上）とドラゴンボートの輸送 『堺島北ドラゴンボート大会』 器材の提供（ライフジャケット）	（該当なしもしくは記述なし）	（該当なしもしくは記述なし）
豊見城ドラゴンボート協会 （沖縄県）	（該当なしもしくは記述なし）	『第12回豊見城ハリー大会』 文化やスポーツ、地場産品や観光業の振興にも寄与する地域活性化事業を目指しています。	（該当なしもしくは記述なし）	（該当なしもしくは記述なし）	別紙添付します。
静岡県ドラゴンボート協会	『富士山羽衣マリーナ』 SDBA所属チームの練習の他、乗船体験（有料）を実施。 SDBAの10人艇1隻とSDBA所属チームの10人艇1隻を保管、体験者等への貸出用（パドル、ライフジャケット有）。 『宇佐美池（計画中）』 練習や体験会の他、校外学習や社員研修の一環としても乗船体験ができる準備中。 20人艇6隻を保管、パドル、ライフジャケット等は準備中。	『ツナカブ』 毎年秋口に開催。ここ数年は大型商業施設「エスエスドリームプラザ」前面海域で実施している。10人艇2艇のレース。参加チーム数は約20チーム。初心者から上級者まで参加者全員が楽しめるよう、カテゴリー分けや大会前日に交流会を開催している。	（該当なしもしくは記述なし）	『体教会（地時）』 初心者を対象に、SDBA所属チームの練習に合わせ体験会を実施。 『宇佐美池体験会』 5月26日の「うさまつり」に合わせて体験会を開催予定。	毎年2月頃：静岡ドラゴンボート協会総会 4月～9月：ツナカブ実行委員会（月1回程度）
東京都ドラゴンボート協会	『船がきマリーナ（東京都中央区船がき3-1-5-3）』 東京都に設置するマリーナで、BKK社製の艇を2隻保管しており、登録チームを対象に貸し出しを行っている。 『水の森水上競技場（予定）』 東京オリンピックで使用される施設のレガシー利用を図ることで承認されており、供用開始後に利用可能となる。	『東京ドラゴンボート大会』 東京都が行う「東京祭り」の一環として毎年5月にお台場で開催。今年は豊洲の大型商業施設に隣接する豊洲公園前で開催。大会前日には会場体験船期、大会当日には子供を対象にしたキッズレースを行い、競技人口の拡大を目指している。	『東京島ドラゴンボート大会』 東日本最大のクラブチーム「東京龍舟」が主催・運営する大会に協力しています。大会終了後は全チームが参加して、近隣公園でバーベキューを行い、交流を深めています 『江戸川区ドラゴンボート大会』 上記の東京大会と両会場で開催のイベントの一環として行われる大会に協力しています。	『地域住民参加イベント』 当協会の本拠地がある地域で「水の都中央区」を作ることに協力して、地域住民の方を対象に乗船会を開催。地域交流を通じ、競技普及を目指しています。	定期社員総会、定例理事会など
滋賀県ドラゴンボート協会	『アウトドアスポーツクラブ オーバル』 オーバルスポーツ株式会社が開催。ドラゴンボートチームの練習を受け入れ、オーバルでは、子どもたちの体験学習を年間6000名程度受け入れ。	『第14回びわ湖ドラゴンボート選手権大会』 小学生の部と親子の部で20人漕ぎと10人漕ぎで、チームを募集し開催している。直線 200m 『第29回びわこペーロン』 8月中旬から下旬に毎年開催。20人漕ぎと10人漕ぎでチームを募集し開催している。直線300m 『第7回スモールドラゴンボート日本選手権』 10人漕ぎの日本選手権。びわこボートレース場で開催。 『びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会 & グランドシニア大会』 琵琶湖遊艇場の1000mコースで開催（グランドシニアは200m）。遊艇場改修工事のため2019年は休止し、2020年に再開予定。	『ドラゴンカヌーヤングフェスティバル』 東近江市龍登川青年団主催の大会。滋賀県ドラゴンボート協会が後援 『野洲市ドラゴンボート大会』 滋賀県ドラゴンボート協会役員が運営協力。	『湖田川しんみ祭り』 祭りの中で、ドラゴンボート体験を開催。体験会運営を、協会登録チームがサポート。	船取り及び漕ぎ方講習会を毎年夏に開催（びわこペーロン開催前）
大阪府ドラゴンボート協会	『大阪府立漕艇センター』 現在、高石市の大阪府立漕艇センターにて2艇のスモールドラゴンボートを保有し土日祝日で練習希望されるチームに対して平日貸し出しを行っている。 また、月1回程度チームの規模を超えた合同練習会を開催。希望者には船取り講習会なども行っている。	『大阪府民体育大会（大阪府民スポーツ大会）』 上記の漕艇センターにて毎年秋頃、参加希望者をつのり単独チームや混成チームを編成し2艇で争うチームレースを開催している。この大会は大阪府体育協会（現 大阪府スポーツ協会）の支援を受け開催している。	『宇治・源平・龍舟祭』 主催、競技役員の募集と配置、前日練習会の運営。 『堺島北進スモールドラゴンボート大会』 JDBAとの共同主催。競技役員の募集と配置、前日練習会の運営。 『日本国際ドラゴンボート選手権』 JDBAとの共同主催。競技役員の募集と配置、前日練習会の運営。 『KIX国際交流ドラゴンボート大会』 協力。競技役員、前日練習会の相手係。 『スモールドラゴンボート選手権』 協力。競技役員、前日練習会の相手係。	（該当なしもしくは記述なし）	（該当なしもしくは記述なし）

【普及広報委員会】

合田靖海委員長

## ■ 2018年度 総括

Facebook：ページに対する「いいね」の数 1551 件（昨年 1316 件（120.1%））、アクセス分析：男性 68%（昨年 67%）、女性 32%（昨年 33%）、国別：日本 1035（昨年 936）、香港 222（昨年 177）、マレーシア 44（昨年 43）

リーチ（既読者数）：日本選手権当日のリーチが 1 日で 25,520（昨年 13,325）を超えており、コンテンツ量やタイムリーな情報発信がユーザーの関心を高めている事が分かる。

WEB サイト：ページビュー182,487（昨年 205,424（88%））、セッション 58,625（昨年 63,625（92%））、ユーザー34,248（昨年 34,777、対前年 98%）

（注）ページビュー：ページが表示された回数

セッション：Web サイトに訪問したユーザーの訪問回数（延べ人数）

ユーザー：セッションのうち再来を除いたユーザー数（延べを含まない人数）

天神大会：アクションカメラを利用、リアルタイムでの組合せ&結果配信

体験乗船会の申込：年間 14 件（前年 5 件）

大会アルバムのアップ 金子委員撮影や協会会員の皆さまから頂いた写真を F B 等に掲載

その他：選抜チームの IT フォロワー ・チャットワークの立ち上げ ・個人情報申込フォーム作成、

情報受付窓口の活用：1 件（TeamBANANA）

## ■ 2019年度 方針

Facebook：継続的な情報発信、協会サイトの「お知らせ」を Facebook の方にも配信（手動）させます

天神大会での活動：アクションカメラ、リアルタイムでの組合せ&結果配信

体験乗船会の申込：Facebook などでも配信、体験乗船会開催している案内（のぼり・シャツ など）

大会アルバムのアップ：各大会（金子委員、協会会員からの投稿を掲載）

地方大会の特派員：各地域の大会に出場されるチームに特派員をご依頼し、写真等撮影依頼

情報受付窓口の活用



## 【第5号議案】

## 第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権選考会ポイント

競技委員長

2020年11月に香港で開催予定の第14回 ADBF アジアドラゴンボート選手権の代表選考をスタンダードは、東京大会で予選会、日本選手権大会で最終選考会を、スモール代表はびわこスモール選手権で行います。選考ポイントは以下の通り。

## ◇東京大会予選会

1位：5ポイント 2位：2.5ポイント 3位：1ポイント

## ◇日本選手権最終選考会

1位：10ポイント 2位：5ポイント 3位：2ポイント

(例)

東京予選会	3位	3位	3位	2位	2位	2位	1位	1位	1位
Point	1	1	1	2.5	2.5	2.5	5	5	5
日本選手権	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
Point	10	5	2	10	5	2	10	5	2
合計 point	11	6	3	12.5	7.5	4.5	15	10	7

※同ポイント場合は日本選手権での成績を上位とする

※育成種目の女子、シニアについては、自己責任で重複乗艇可。決勝戦での舵取り派遣可。女子は太鼓、舵取りは男子可。但し、レース進行では配慮しない。

## 【第6号議案】

## 理事選任(承認)

2019-2020 年度JDBA役員

名誉会長	小野清子(JOC 名誉顧問)
会長	松川るい(現在:参議院議員):新任
副会長	筆頭副会長:矢田節彦、 櫻井顕一(代表理事):新任、細谷悦哉、後藤幸弘:新任
理事長	長谷川伸(代表理事):新任
副理事長	菅蒲誠(代表理事・国際統括) 谷達也(代表理事・国内統括・事務総長):新任
常任理事	鎌田敦士(用器具統括・WDBA 理事長):新任、原田直己(医事厚生委員長):新任、木村一郎(普及副委員長・ODBA 理事長):新任、森永裕幸(国際委員長):新任、半田佳彦(強化委員長):新任、楡木栄次郎(強化委員会オープン混合部長):新任
理事	宮村一(評議委員長)、後藤幸弘(科学技術委員長)、合田靖海(広報普及委員長)、川北尚勝(審判委員長):新任、石川平明(用器具委員長):新任、利波敏行(営業法制委員長):新任、松尾由佳(国際担当):新任、山崎裕司(事務局長):新任
事務局	山崎裕司(事務局長)、千葉晋史(局次長)、堀之内弘恵、中村和哉
相談役	山岡伸一、竹末佳紀
競技委員会	長谷川伸(競技委員長)、村野智子(総務部長)
審判委員会	川北尚勝(審判委員長)
強化委員会	半田佳彦(強化委員長・ジュニア部長)、楡木栄次郎(オープン・混合部長)、河田英幸(女子部長)、高橋雅彦(オープン・混合副部長)
評議委員会	宮村一(評議委員長)、山脇秀錬(副委員長)、高橋冬扇(副委員長)
国際委員会	森永裕幸(国際委員長)、菅蒲誠(副委員長)、松尾由佳、野尻恵子
用器具委員会	石川平明(用器具委員長)、池田和也(副委員長)
法制営業委員会	利波敏行(法制営業委員長)
医事厚生委員会	原田直己(医事厚生委員長)、森岡幸雄(副委員長)、堀之内弘恵、橋本正勝
普及広報委員会	合田靖海(委員長)、木村一郎(副委員長)、丸山晴海
科学技術委員会	後藤幸弘(科学技術委員長)、田中譲(副委員長)、秋武寛、越智祐光
監事	西川京子(会計監査=公認会計士) 中村英作(業務監査=日本郵政)

※会長は定款により、理事の推薦で決定済み。

理事は4人以上で18人まで。常任理事は8人まで(定款:第17条 理事の員数)。

【松川るい JDDBA 新会長プロフィール】 自民党参議院議員：48 歳



2019 2/20 参議院議員会館にて挨拶

【ウキペディアより】

奈良県奈良市生まれ<sup>[2]</sup>。四天王寺中学校・高等学校、東京大学法学部卒業<sup>[3]</sup>。1993 年、外務省入省<sup>[3]</sup>。1997 年、アメリカ合衆国のジョージタウン大学国際関係大学院を修了し、修士号を取得。1999 年外務省条約局法規課課長補佐、2002 年アジア大洋州局地域政策課課長補佐<sup>[3]</sup>。

外務省では国際宇宙ステーション、みなみまぐろ国際裁判、ASEAN 協力や日中韓協力、タイ・フィリピン等、対 ASEAN 諸国の外交交渉に携わり、2004 年から軍縮会議日本政府代表部一等書記官として核軍縮インテリジェンス部門で国際情勢分析に取り組んだ。国際情報統括官組織首席事務官を経て、2011 年、日中韓の三国がソウルに設立した日中韓三国協力事務局で申鳳吉局長のもとで次長に就任し、2013 年まで務める。2014 年、安倍内閣が掲げる「女性が輝く世界」を推進するため、外務省に新設された女性参画推進室の初代室長に起用された<sup>[3]</sup>。2016 年、外務省を退官した<sup>[3]</sup>。

同年、自由民主党大阪府連が実施した第 24 回参議院議員通常選挙の候補者公募に合格し、府連は大阪府選挙区(定数 4)での公認を党本部に申請<sup>[4]</sup>。自民党公認で大阪府選挙区から出馬し、同区トップの得票数で初当選した<sup>[5]</sup>。

**【第7号議案】** 定款変更について(承認)

例年、大阪府より府民税として5万円を支払っていますが、減免については、「定款」の中に①剰余金が出た場合に協会内で分配しないことと②JDBAが万が一、解散する時には残余財産がある場合には、「国庫」に返還する旨を記載する必要があるため下記の通り、現状の定款に第34条、35条、36条として追記します。

(剰余金の不配当)

第34条 当法人は、剰余金の配当はしないものとする。

**第7章 解散及び清算**

(解散の事由)

第35条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。

1. 社員総会の決議
2. 社員が欠けたこと
3. 合併（合併により当法人が消滅する場合）
4. 破産手続開始の決定
5. 裁判所の解散命令

(残余財産の帰属)

第36条 当法人が解散した場合に残余財産があるときは、国庫に帰属する。

**【第8号議案】** 謝礼の受取規定について(承認)

- ・7月の日本選手権でのJDBAの理事13人に対して、日当として4000円支給する。
- ・競技役員への謝金、旅費支給に関する規定について(承認事項)

●謝金・旅費支給に関する規定（条文）

(目的)

第1条 この規定は、一般社団法人日本ドラゴンボート協会（以下「JDBA」という）が支払う謝金について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝金対象者)

第2条 JDBA登録の競技役員を、この規定による謝金対象者とする。

(謝金の対象となる競技会)

第3条 謝金・旅費の対象となる競技会は、JDBAが主催または後援、主管する国内大会で、理事会または事務局長が必要であると判断した競技会とする。

また、理事会または事務局長が必要と判断する会合及び理事会もその対象とする。

(競技会出席謝金の単価)

第4条 1. 競技会出席の単価は、1日当たり4,000円（1日8時間）とする。



2. 理事長または事務局長は、必要に応じて、前項の競技会出席謝金の単価を増額、または減額することができる。
3. 理事の過半数の合意があった場合は、同条1項の謝金の単価を増額、減額することができる。

(交通費及び宿泊費の実費の支給)

- 第4条 1. 第2条に定める謝金対象者には、第4条に定める謝金の単価に加えて、交通費及び宿泊費等の実費相当額を支給する。
2. 海外の競技会において、IDBF主催の世界選手権、ADBF主催のアジア選手権に役員を派遣する場合は、上限で10万円(日本円)を上限として交通費を実費支給する。

(改正)

第5条 この規定の改正は理事会にて行う。

(雑則)

第6条 この規定に定めのない事項については、理事会に諮って別に定める。

#### 【第9号議案】

・コンプライアンスの対応について

死亡事故や協会内の不祥事が発生した場合の協会の対応について、発生した事象により各専門委員会委員長、理事、事務局が状況を把握し、対外的には「理事長」「副理事長」の代表理事と「事務局長」がこれにあたることとする。

・東京協会の新艇購入状況について

#### 【第10号議案】

・その他、質疑応答について

以上

## 理事会議事録

◇日時:2019年5月11日(土)午前10:00-午後2時45分

◇場所:大阪市浪速区湊町2-1-57 産経新聞社8階 会議室 午前10時—

◇出席者:理事12人(櫻井、菖蒲、長谷川、原田、木村、半田、楡木、宮村、合田、後藤、谷、  
委任:鎌田)理事13人中、12人出席で理事会は成立

○「第1号議案」:2018年度の事業報告等は全会一致で承認

○「第2号議案」:2018年度決算報告は全会一致で承認

○「第3号議案」:壇税理士より説明

○「第4号議案」:2019年度予算、事業計画説明

○「第5号議案」:専門委員会

- ・競技委員会:報告 IDBFルールとJDBAルールを見直す。
- ・国際委員会:報告 海外からの問い合わせが多い。
- ・審判委員会:報告 山崎裕司事務局をA級に飛び級をお願いしたい(JDBA)。文書で申請する。
- ・科学技術委員会:報告 2018年度データ分析発表。2019年度もチームに協力を仰いで、昨年同様にGPSの調査をしたい。科学委員会では、委員の構成に若手を入れていきたい。(後藤委員長)。  
分析データは、強化委員会委員長が管理し代表チームの為に利用するが、一般には公開しない。(理事会)。  
データを見て、エルゴと1人漕ぎとの相関関係はリンクをしている。個人のパフォーマンスを上げたい(楡木強化委員長)。
- ・法制営業委員会:報告 ワールドマスターズのドラゴン開催の滋賀県では2年前イベントは行わない。  
滋賀県と大津市と連動していかなければならない。(利波委員長)  
JDBAとしては、菖蒲副理事長がテクニカルデリゲートなので、担当委員長として滋賀県、大津市、カヌー連盟と連絡し基本計画書を作成する。  
2020年11月上旬にパンパシフィックマスターズゲームズでドラゴンがゴールドコーストで開催予定。2025年大阪簡裁万博が体験型を目指し、海型なのでドラゴンの「体験」などの環境づくりも必要である(利波委員長)。
- ・強化委員会:報告 強化指定選手で力の落ちている選手の入れ替えをしたい。  
ビーチゲームズの選考はカヌー連盟とJDBAとのすみ分けで、スタンダードはJDBAがスモールはカヌー連盟が選考会を行っている。(谷事務局)  
来年のビーチゲームズに向けて、本年度の琵琶湖スモール日本選手権をスモール艇の選考会として位置づけられるか検討する(楡木)。  
A団体登録B団体登録については、今後内容を精査していく(理事会)
- ・評議委員会:報告(宮村委員長)普及委員会とともにチームを増やす展開をお願いしたい。(桜井)
- ・普及委員会:報告(合田委員長)

- ・医事厚生委員会:報告 ドーピング検査は、大変変わった。競技会検査もJDBAの申請通りだったが、WADAから「公平性が取れない」として、新たに日本スポーツフェアネス機構が実施計画を決め、それを受けて検査をアンチドーピング機構が実施することとなった。東京大会やKIX大会にもJADAが来る可能性がある(原田委員長)。

選手の抽出方法はジャパンチームをメインとして行っていきたい。

アンチドーピングはジャパンの合宿でも行っていきたい。

- 「第6号議案」 2019年度役員は全員一致で承認。
- 「第7号議案」 定款変更について、全員一致で承認。
- 「第8号議案」 全員一致で承認。
- 「第9号議案」 報告
- 「第10号議案」 特になし。

## 総会議事録

- 「第1号議案」:報告 事業報告
- 「第2号議案」:報告 決算報告 全員一致で承認。
- 「第3号議案」:報告 塩税理士より説明。
- 「第4号議案」:報告 2019年度予算説明。事業計画。
- 「第5号議案」:報告 専門委員会
  - ・競技委員会 長谷川委員長より説明。
  - ・国際委員会 森永委員長より説明。
  - ・審判委員会 川北委員長より説明。その他、A級と上級審判の違いについて説明。
  - ・科学技術委員会 後藤委員長より説明。④の世界レベルの漕法測定は難しい。  
委員会の構成案は削除。
  - ・法制営業委員会 利波委員長より説明。2025年の大阪関西万博はヘルスをテーマにしているので、ドラゴンボートが実施される様に、努める、
  - ・強化委員会 楡木強化委員より説明。25ページの第3項赤字部分については、継続審議。
  - ・評議委員会 宮村委員長より説明。
  - ・広報普及委員会 合田委員長より説明。体験会から大阪協会は外す。
  - ・医事厚生委員会 原田委員長より説明。各都道府県、チームの練習でも保険をかける。  
これからのドーピング検査は、これから世界アンチドーピング機構から「公平性」が取れないとし、これからは申請は日本フェアネス推進機構が作成し、アンチドーピング機構が検査を行う。講習会はハイレベルの選手を集めても行う。
- ・第14回ADBFAアジア選手権のポイントを長谷川委員長より説明。
- 「第6号議案」 2019年度—20年度役員を全会一致で承認。

- 「第7号議案」 定款の変更について全会一致で承認。
- 「第8号議案」 謝金の受け取りについて全会一致で承認。
- 「第9号議案」 コンプライアンスの対応について櫻井議長より説明。
- ・東京協会浅岡理事長より 東京龍舟に2艇、東亜建設にチャンピオン艇を4艇保管。  
今後、海の森でも活用を検討している。(浅岡理事長)

○「第10号議案」

- ・オープン、混合のダブルエントリーができないか？→「健康上やレース上の問題があるので、検討していきたい」
- ・混合のIDBFルールの男女同数規定についてどうなっているか？→「JDBFルールでは、規定はまだ規定がないので、今後検討していきたい」

### 総会議事録の新理事の承認

◇出席者:理事17人(長谷川伸、櫻井顕一、菖蒲誠、原田直己、木村一郎、半田佳彦、榆木英次郎、宮村一、合田靖海、後藤幸弘、川北尚勝、利波敏行、松尾由佳、石川平明、山崎裕司、谷達也、委任:鎌田厚)

長谷川伸	<input type="radio"/>	櫻井顕一	<input type="radio"/>
菖蒲誠	<input type="radio"/>	木村一郎	<input type="radio"/>
原田直己	<input type="radio"/>	半田佳彦	<input type="radio"/>
榆木英次郎	<input type="radio"/>	宮村一	<input type="radio"/>
合田靖海	<input type="radio"/>	後藤幸弘	<input type="radio"/>
川北尚勝	<input type="radio"/>	利波敏行	<input type="radio"/>
松尾由佳	<input type="radio"/>	石川平明	<input type="radio"/>
山崎裕司	<input type="radio"/>	谷達也	<input type="radio"/>
森永裕幸			

## 定時社員総会議事録

1. 日 時：令和元年5月11日午後3時
2. 場 所：大阪市浪速区港町二丁目1番57号

株式会社産業経済新聞社大阪本社8階

3. 出席者：議決権のある社員総数 94名  
総社員の議決権の数 94個  
出席社員総数（委任状出席を含む） 65名  
この議決権の総数 65個

4. 議長理事： 櫻井 顯一

5. 出席理事： 菖蒲 誠、 谷 達也、長谷川 伸、 原田 直己、  
木村 一郎、 半田 佳彦、楡木 栄次郎、 宮村 一、  
合田 靖海、 後藤 幸弘、鎌田 厚

6. 出席監事： 中村 英作 西川 京子

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、理事櫻井顯一は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2018年度事業報告及び2018年度JDBA登録チームの件

議長は、2018年度の事業報告及び2018年度JDBA登録チームの報告を行った。

第2号議案 2018年度決算報告の件

事務局長は、2018年度の決算報告を述べ、一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第3号議案 2018年度会計報告・会計監査・業務監査の件

監事西川京子より会計監査、監事中村英作より業務監査につき、適正な処理が行われている旨の報告が行われた。

また、壇税理士より正味財産増減計算書及び調整表の説明があった。

第4号議案 2019年度予算の件及び事業計画・大会日程の件

事務局長は、2018年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細について報告し、2019年度の予算計画を述べ、一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。また、議長より2019年度の事業計画と大会日程が報告された。

第5号議案 2018年度各専門委員会報告と2019年度事業方針の件

各専門委員長より2018年度の事業報告と2019年度事業方針が報告された。続いて競技委員長より2020年第14回ADBFAジアドラゴンボート選手権大会について、説明がなされた。

第6号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員が本定時社員総会終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、一同

に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任した。

なお、出席被選任者は、席上就任を承諾した。

理事 櫻井 顯一	理事 菖蒲 誠	理事 谷 達也
理事 長谷川 伸	理事 後藤 幸弘	理事 宮村 一
理事 原田 直己	理事 合田 靖海	理事 鎌田 厚
理事 半田 佳彦	理事 木村 一郎	理事 楡木栄次郎
理事 森永 裕幸	理事 川北 尚勝	理事 利波 敏行
理事 松尾 由佳	理事 石川 平明	理事 山崎 裕司
監事 中村 英作	監事 西川 京子	

#### 第7号議案 定款一部変更の件

議長は、下記のとおり定款第34条、第35条及び第36条を新設したい旨及びその理由を詳細に説明した上で、一同に諮ったところ、全員一致をもって、承認可決された。

(剰余金の不配当)

第34条 当法人は、剰余金の配当はしないものとする。

(解散の事由)

第35条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。

1. 社員総会の決議
2. 社員が欠けたこと
3. 合併（合併により当法人が消滅する場合）
4. 破産手続開始の決定
5. 裁判所の解散命令

(残余財産の帰属)

第36条 当法人が解散した場合に残余財産があるときは、国庫に帰属する。

#### 第8号議案 JDBA理事に対する日当支給承認及び競技役員への謝金・旅費支給に関する規定承認の件

議長は、日本選手権においてJDBA理事に対して、日当を支給したい旨及びその額について、詳細に説明し、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。

続いて、議長は、競技役員への謝金・旅費支給に関する規定の制定につき、詳細に説明し、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。

#### 第9号議案 コンプライアンス対応及び東京協会新艇購入の件

議長より、当協会のコンプライアンスの対応につき、詳細に説明し、一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。続いて、議長は、東京協会の新艇購入状況を詳細に報告した。

7. 閉 会：議長は午後4時30分閉会を宣言した。

### 総会議事録の新理事の承認

◇出席者：理事17人（長谷川伸、櫻井顕一、菖蒲誠、原田直己、木村一郎、半田佳彦、榆木英次郎、宮村一、合田靖海、後藤幸弘、川北尚勝、利波敏行、松尾由佳、石川平明、山崎裕司、谷達也、委任：鎌田厚）

長谷川伸



櫻井顕一



菖蒲誠



木村一郎



原田直己



半田佳彦



榆木英次郎



宮村一



合田靖海



後藤幸弘



川北尚勝



利波敏行



松尾由佳



石川平明



山崎裕司



谷 達也



鎌田厚



以上の決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和元年5月11日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会

議長代表理事 櫻井 顯一

